

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 1月26日

【評価実施概要】

事業所番号	0175700434		
法人名	有限会社 リアン		
事業所名	グループホーム えみな栄町		
所在地	岩見沢市栄町2丁目1番9号 (電話) 0126-32-2820		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年1月23日	評価確定日	平成21年3月18日

【情報提供票より】 (20年12月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 9月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 6人, 非常勤 1人, 常勤換算 6人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	水光熱費 13,000円
			暖房費(11~4月) 6,000円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (1月23日 現在)

利用者人数	8名	男性 3名	女性 5名
要介護1	0名	要介護2	1名
要介護3	4名	要介護4	3名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 84.8歳	最低 71歳	最高 92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東町ファミリークリニック、松藤医院、ハタテ歯科、鍵谷歯科
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームを一言で表現するとしたら、やはり「大家族の家」が一番妥当かと思慮します。高齢で体の不自由なお年寄りの方々が嫁さんや孫達に支えられて共に暮らしている光景を見ることが出来るからです。運営者(ホーム長)は、認知症にとらわれず「利用者その人」を理解するケアを本意として、職員の指導に当たっています。看取りに関しても、避けられない死という現場に臨み、真正面から受け止め、最後まで利用者の尊厳を大切に扱われるホームの姿勢が大きな特徴といえます。運営者は、職員の数も必要であることは理解しつつ、あくまでも「ケアの質」のこだわりを職員の人間性に求めて止まない剛毅木訥さを垣間見ることが出来ます。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の取り組み課題である運営理念、また、終末期における介護計画の改善は、ホーム長及び職員の果敢な取り組みにより改善されています。同業者との交流を通じた向上への取り組みは、ホーム長の積極的な行動によりネットワークができてありますが、更に踏み込んだ取り組みが期待されます。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は、職員全員が参加して作られています。ホーム長は更にサービスの質を高めるため「より良いケアのために私達は何ができるか」をテーマとした掲示法による職員の意識改革も試みるなど、自己評価と平行しての作業が継続されています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>平成20年にあつては4回の会議が開催されて、ホームの現況、またホームが抱える問題、家族の意見や要望に対する取り組み、市の監査指導事項などを率直に報告して透明性のある会議となっています。ホーム長は会議のマナー化を防止するため、認知症に関する学習会の開催や市の担当者による介護保険の説明などを導入してメンバーの理解をいただく努力が視えます。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族とのコミュニケーションを大切にして、意見や要望が言いやすい雰囲気作りに気配りをしています。ホームではいただいた意見や要望が失念することがないように「ミーティング表」に記載しつつ、共有を図りながら、取り組むことにしています。また、内容は運営推進会議にも報告するなど、透明性のある処理をしながらサービスの向上を図っています。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会の諸事業への参加を通じたお付き合いは、徐々に増加の傾向にあります。公園の清掃や花壇の整備など利用者と地域住民とが顔の見えるお付き合い、また、保育園児との心温まる交流などを通して、利用者の地域に根ざしたゆりの暮らしに貢献しています。現在、災害時などへの地域の協力要請を行ないながら、安心のできる環境作りに努めています。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成17年のホーム開設当初より、地域の一員としての位置づけが理念として謳われており、地域の中で、その人らしく暮らし続けることへの支援についてこれまでの地域への発信、また、サービスの向上に向けた努力が続けられています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームとしての大きな目標である理念への追求に加え、職員個々のサービス目標を理念として掲げて、日々のサービス提供の是正を図っています。「より良いケアのために何ができるか」をテーマとした掲示法での学習など、理念への共有が図られています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者の多くが要介護度が高い条件下にありますが、地域にあって孤立することなく、交流を試みるなど、積極的に実践が行なわれています。町内会行事の公園の清掃や花壇の整備事業への参加、また、近くの保育園児との交流など、心の通った交流が続けられています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の作成に当たっては、職員全員がサービスへの気付きを行ないながら作られています。新人職員も可能な部分で参加しており、外部の評価にも関心が深く、ケアサービスの具体的な改善への意欲の高さが窺えます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成20年1月から4回の開催が記録されています。利用者の状況、サービス提供の状況など細やかな報告のほか、認知症ケアの学習をDVDを利用して行なうなど、メンバーが一体化された議事の運営が視えます。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは、ホームの現況を報告し理解をいただくほか、介護保険制度に関する情報の共有を行ないつつ、サービスの質の向上に向けた取り組みが行なわれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月家族に送付されている会報「リアン通信」は、利用者の暮らしが容易に理解できる写真と文面も見やすく家族の好評をいただいています。介護度の高い利用者を擁するため、家族の来訪時の会話や電話、FAXなど情報を密にして、利用者や家族の不安解消が図られています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時や電話によるコミュニケーションを十分に行ないながら、家族の意見や要望の収集に努めています。職員に関する意見なども多少寄せられており、ミーティング表に記録しながら、その都度解消に向けた話し合いが行なわれています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動等による影響を回避するため努力はされつつも、離職の現実には避けられないものがあります。新人職員の早期離職など、馴染みの構築に至らない場合も多い状況では、ベテラン職員のサポートが大きな力となっています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営法人が有する二つのグループホーム合同の勉強会を毎月行なうほか、外部の研修会にも参加しています。運営者は、資格より本人のやる気を重視しながら、質の高い人材の確保を目指しています。現在、新人職員に向けた教育マニュアルを作成するなど、職員を育てる取り組みが絶え間なく続けられています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市外のほかのグループホームとの交流は、情報交換や職員の交流など、小規模で行なわれていますが、地域のネットワークによる交流を通じたサービスの向上には至っていません。	○	運営者は、ネットワークによるグループホームの社会的な向上の必要性を強く思いながら、近隣のグループホーム関係者に働きかけを行っており、その取り組みと成果に大きな期待を致します。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、その場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの暮らしを理解していただくため、家族と共に数回の訪問をして、食事を共にしていただくなど配慮しています。在宅からの利用も多く、併設のデイサービス利用などホームでの馴染みの関係が容易に作られています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は常に利用者と共に生活している意識を持ち続けるよう努めていますが、利用者に諭される場面もあり、人生の先輩と後輩が共に支えあう関係作りが行なわれています。ホームでは入浴中の支援を通じた利用者とのコミュニケーションを大切にしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症にとらわれず「利用者その人」を理解しようと努力しながら支援が行なわれています。利用者の表情から思いや意向を把握するスキルも向上するよう、職員の日々の努力が続けられています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を採用しながら、利用者本位の介護計画が作られています。計画に対する評価に加えて、日常の観察からの評価を重ね合わせながら作られています。家族の意見も十分に反映されるように努めています。特に口腔ケアは医師との連携をとりながら、チームケアの構築がされています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	アセスメントやモニタリングが3ヵ月毎に行なわれますが、介護度が高い関係で、1ヵ月や状況に応じた見直しがその都度行なわれています。ホームの介護支援専門員（看護師）と訪問看護師の連携に加え、医師の指導の下、現状に合った計画が作られています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスやショートステイと連携を取りながら、利用者や家族の状況を正確に捉えながら柔軟な支援をしています。特に家族へのケアも大切としています。家族と共に行なう小旅行など、利用者の家族の絆や思い出作りを大切に支援をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関からの往診や24時間対応の支援を受けています。訪問看護の体制も確保され、看取りへの対応を含め、ホームの看護師との連携により適切な医療が受けられるよう支援されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居に際し利用者と家族に対して、重度化への対応を説明して同意書をいただいています。また、重度化に際しては医師や看護師の指導をいただきながら、家族との協議を重ねるなど、関係者全てが共有して、最良のケアが受けられるよう取り組みが行なわれています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人のプライバシーや人格を尊重する支援の徹底化が図られています。記録はもとより日常の会話についても造語で話すなど、利用者ばかりでなく、ほかの利用者にも配慮した支援が行なわれています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の暮らしの流れは、原則的に利用者自らが作り出すものとして、ホームのスケジュールは作られていません。利用者との係わりの中で、その人らしい暮らしができるよう配慮し支援されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の暮らしの中で楽しみな食事では、職員が声掛けをして、楽しい雰囲気作りをしながら進められています。利用者の中には職員と共に配膳の準備や下膳を行ないます。今回調査訪問当日に入居の受入れがあり、利用者が家族に見守られながら、ほかの利用者と共に食卓に着いて、和やかに食事をする光景も垣間見ることができました。家族も利用者の様子を見守られ安心して帰られた様子でした。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決められていますが、利用者の希望により柔軟に取り組まれています。広い脱衣室と浴室は、ゆったりと作られ窓からの陽射しもふんだんに取り入れられています。浴槽は三方向から介助が可能で利用者はもとより介助者への負担軽減も図られています。また、全身のシャワー浴の装置も備えられ、利用者の状況に合わせた入浴支援が行なわれています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事に際しての後片付けや食器洗い、リハビリ体操、餅つき、菜園作業など、役割りを分担しながら、張りのある暮らしへの支援が行なわれています。編み物を職員が教わるなど、利用者の豊かな経験が活かされる場面作りで支援が行なわれています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	冬季間以外は、可能な限り散歩など、外の空気に触れる機会を作り支援されています。ホーム隣の公園散歩や菜園での作業も日常的に行なわれています。また、旭山動物園、水族館、花見、紅葉の観賞など、家族を交えた小旅行に出かけながら、家族との絆も考慮した支援が行なわれています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜間に行なわれますが、それ以外は一切なく、鍵を掛けないケアが行なわれています。夜間、寝起きの状態でトイレへ向かう際の転倒防止策の一つとして、家族に同意をいただいて居室にセンサーを設置し、更なる安全確保に努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	6月消防署とセコムが参加して全利用者の避難訓練が、また11月～12月には夜間を想定した訓練が行なわれています。特に夜間での緊急時に職員が集合可能な時間を測るなど訓練を組み入れています。現在、地域の住民にも声掛けして協力を要請しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状態を把握しながら、状況に合わせたバランスのある食事と水分摂取の支援が行なわれています。体調によっては病院や看護師の指示をいただきながら献立が作られています。食事のメニューを家族に送りながら、利用者の食事の状況が判るよう配慮がされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い廊下を隔ててデイサービスでの暮らしが見え、ホームの利用者も行き来しながら、楽しい交流が続いています。廊下に掲示されている行事や暮らしの写真が利用者や家族の目を引いています。季節感にも配慮があり、ゆったりとした家庭的な雰囲気が漂うなか、利用者の安心の暮らしが継続されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	可能な限り利用者の馴染みの生活用品の持込みをお願いして、安心の空間作りへの支援が行なわれています。大きめの収納設備もあり、広々とした居室は居心地の良い空間となっています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。